

議 事 録

団体名称と責任者氏名

近畿大学校友会化粧品支部 支部長 亀田宗一

印

会議の名称	第二回化粧品支部総会	開催年月日	平成二十九年七月二十九日	自 十八時
会場の名称	ホテル日航大阪	出席者		
会場の所在地	大阪市中央区西心斎橋一―三―三	出席人数	三十七	
		別紙記載		
議 事 (一切の経過を含む)				
支部開催趣旨				
近畿大学は「五十二万の人材」と言われる多くの卒業生を社会に送り出しており、近畿大学の学生はその人材を活用し就職活動を有利に進めている。卒業生は多種多様な職種に就いて活躍しており、中でも化粧品関係に多くの卒業生が就職し、親密な絆を保っている。会員増強については化粧品関係会社や香料メーカーに案内を送り卒業生の所存を確認し、会員に入ってもらっている。化粧品支部はただの同業の集いでなく化粧品の研究開発、製造技術、営業方法の英知を結集し社会貢献を行う。				
昨今の化粧品技術の発展は日本から世界に向けて発信され、大切な学問である。しかし、各大学に化粧品をカリキ				

ユラムに取り入れ教えているところはなく、この化粧品支部は、将来近畿大学に化粧品学部を作る礎になると信じる。この新たな試みは、近畿大学を世界に向けてアピールすることができ、卒業生の『母校愛』の目覚めに繋がるのではないか。また、近畿大学の学生の就職支援についても尽力していく。

本日は学部を超えた強い絆、化粧品技術を通じての社会貢献、化粧品支部設立への支援と母校愛に目覚めた方々が数多く集まって頂き、第二回化粧品支部総会を開催する。

① 支部長挨拶

化粧品支部支部長 亀田宗一から挨拶の言葉

化粧品関係には多くの方が勤めており、本化粧品支部は平成二十七年十二月に四社二十二名で発足し、平成二十八年七月の第一回総会では四十名の参加者を集めることが出来た。今年には会員数は更に増加し六十四名になった。化粧品に対する思い、卒業生同士の絆に対して皆様の強い賛同を得られた結果と考える。

化粧品においては今でも日本が一番の技術・知識を持ち、その技術力で持つて近畿大学、または社会への貢献を行う。また、近畿大学生の就職支援にも力を入れ、学生が有利に就職できるような支援活動を行っていききたい。

② 来賓挨拶

近畿大学校友会副幹事長 山口英治様から挨拶の言葉

第二回化粧品支部総会開催おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、平素より校友会並びに近畿大学に多大なご協力ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

近畿大学は四年連続受験者数日本一を記録しており、八年後の一〇〇周年に向けて、東大阪キャンパスの大規模整備計画、泉が丘に医学部を移設するプロジェクトを大きく全国に発信している。校友会も大学と連携しプロジェクトを進めていきたい。先日も東大阪キャンパスのシンボルとなるタワー棟、キャリアセンターのオフィスについて、メディアで取り上げられており、情報発信の努力と高い研究開発力によるものと考えております。世界の大学ランキングでも近畿大学は日本の有数の私立大学として取り上げられており、受験者数に繋がっています。

校友会支部には地域支部、職域支部、専門職支部があり現在百六十九支部、同窓会が二十支部あります。色々な地域支部や職域支部を見てきました。が校友の絆・社会貢献・大学への寄与といった点でそれぞれに特徴があり、専門職支部は新しい支部が多く、勢いがあり強い意志を持っている傾向があるように思われます。また、地域支部は柔らかくに絆を愛していく支部が多いです。そういった様々な支部が集まって百六十九支部があり、その協力の下、校友会はなりたっておりますので、今後ともご支援ご協力をよろしく願います。

皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

③活動報告

香粧品支部は会員増強を第一の目標とし、第一回支部総会から本日に至るまで数多くの関係各社にご協力頂き、香粧品支部ではあるが今回の支部総会では銀行関係の方にも参加して頂いている。原料会社や化粧品を製造する機械を製造する会社の方にも参加して頂き、色々な視点で今後の化粧品技術の進歩について語り合っ頂く事が出来る。昨年十二月には執行部会を開き、各執行役員で三名以上を香粧品支部に紹介することとし、会員総数を六十四名とすることが出来た。今後もまだまだ会員増強を目指していく。

④活動計画

これまで校友会の定期総会はシェラトン都ホテルで行っていたが、今年は十月十五日に本学東大阪キャンパスで開催されることとなった。現在、東大阪キャンパスには近代的な図書館や寿司屋などの様々な設備ができており、皆様が入学していた時とは全く違う。香粧品支部としてもチケットを予約するので、皆様には十月十五日の定期総会にぜひ参加していただき自分が卒業した大学の今を見てほしい。

香粧品には必ず医学、薬学、生物学、農学の分野が関わってくるが近畿大学には全てが揃っている。その英知を集めれば世界に全く新しいデータを示せる香粧品を打ち出せる。また、文芸学部には香粧品のデザインに携わってもらい、理美容師を目指す人は最高の教育を受けられるようになる。

香粧品支部も近畿大学の100周年を支えていけるように、皆様には周りの卒業生に声をかけてもらい、卒業生で

あることを誇りに持つて協力して頂きたい。これから近畿大学に入学する学生には勇気を与えることができるような活動を行っていききたい。

⑤ 会計監査報告

香粧品支部の収入は主に寄付と総会会費、幹事会会費からなっており、百七万四千七百六十一円、支出は総会費用や通信費等また繰越金があり、収入と同じく百七万四千七百六十一円であった。関係書類・預金通帳等により本年七月二十一日に会計監査を行った結果適正であったと報告する。

⑥ 質疑応答

質問なし。

⑦ 特別講演「香粧品の特許の取得方法と活用方法」

香粧品支部支部長 亀田宗一

何を特許にすればいいのか、何が特許にできるのかは分かりにくく、それに気付いていない人が多い。しかし、技術者でなくても特許は取ることができる。全く新しい発想も大事ではあるが、当たり前の事にも特許のヒントがある。常識に捉われず見方を変えることで、発想に色々な広がりを持たせることができる。

特許には製造方法や製造物自体の特許、効果効果についての特許などの種類がある。いきなり論文を先に書くのは

難しい、特許を先に抑えて、それを論文にするのは難しくくない。香りや植物抽出物については、成分を単離することで効果効果の特許を容易に取ることができる。

他にも効果効果の特許としてはシミの改善方法や美白成分の特許、シワを減らす、アレルギーや抗炎症に関する効果効果も試験を行い、データを提示することで特許を取ることができる。

特許をもつと意識する必要がある。まず研究開発の初めに、特許を検索し類似の特許が出されていないか、その特許の期限が切れていないのかを確認する。類似の特許があればその特許と同じ試験を行い、効果が勝っていれば最新のものとして特許を取ることができる。成果の特許に書こうとすると難しいが計画を立てていけば難しくくない。PDCAサイクルが重要で、吉田松陰の言葉にあるように「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし」、目的を持って結果のチェックを行えばいい。最先端の実験をしているという意識、近畿大学を卒業したという意識を持つてほしい。

現在は日本で申請したと同時に、米国、欧州、ASEAN、その他の世界各国において特許を申請することが出来る。実際の検証の一例として、浸透剤によるアレルギーの手荒れが刺激のない洗浄剤に代えることで6カ月で綺麗に治る。炎症を起こさない物を使うだけで、薬ではなく自然治癒力により劇的な改善が見られた。

これからの化粧品は化学から華学へデータを持って変えていく必要がある。まだまだ、化粧品は日本がトップレベル

ルの技術を持っている。近畿大学が医学、薬学、生物学、農学、文芸も含めた化粧品を専門に教えれば、一番人気が集まる学部ができるのではないか。

ちよつとしたことが特許に、新たな技術に、論文になる。そういったきっかけが世の中には転がっている。

⑧ 記念撮影

出席者による記念撮影を行い、本会の記録とした。

以上